

沖縄カトリック中学高等学校
学校通信

野ばら

9月号

発行
沖縄カトリック中学高等学校
〒901-2215
宜野湾市真栄原3-16-1
TEL 098-897-3300
<http://www.catholic-okinawa.ed.jp/>
2012年9月3日



仲間・僚友・友

校長 夏見隆晴

夏休みも無事に終わり、生徒の皆さんも元気で学園に戻ってきてくれました。校内のあちこちで、生徒たちの輪ができていっているのを見ることができるのは、わたしにとっては何よりの楽しみです。

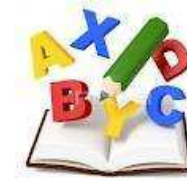
8月も残り少なくなったある日、スターバックスで席を探していたわたしに声をかけてくれた一団がありました。彼女たちは今年の春卒業した人たちで、わたしにとっては記憶もまだ新しいものでした。それだけに、在学中の仲間が集まって交流している姿を見ると、これで良いのだとホッとしました。これからも仲良くして欲しいものだと念じながら別れました。

学校時代にいろいろなことを一緒にしてきた仲間も、やがて学校を卒業して仕事に就くことになります。そこでは職場を同じくするということが、同僚という関係が生じます。普通同僚というのは同じ仕事をしているので、どうしても競争の原理が入ってきてしまいます。そのため、社会に出ると友人関係の構築は困難であると言われるのでしょう。でもわたしは敢えて言います、カトリック学校で学んだ者は、どんなところで出会った人であっても、その人との友人関係を築こうという努力だけは惜しまないでほしいということを。聖書には、僚友という語句も用いられているのです。

人間関係においては、仲間も僚友も大切です。そして、わたしたちは沢山のよい仲間や僚友を作るように努力する必要があります。他者と交わるということは、どんな社会でも避けて通れるということは無いからです。それゆえわたしたちは、まずわたしたちの学校に学んだ者は、自分が置かれた場所で好ましい仲間作りや僚友関係を築けるように配慮しながら、日々の教育活動を実践したいと願っております。

でもわたしたちの学校では、もう一步深くこの問題について教える必要があると考えています。それは、イエスの次の言葉です。「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない」(ヨハネ 15:13)という教えです。もちろん、現実にはこのような機会が訪れるということは稀でしょう。でもイエスは、この前提として弟子たちが相互に愛し合

わなければならない、ということを説いているのです。しかもイエスは、ご自身と弟子たちの関係は、主と弟子の関係ではなく「友」としての関係を説いておられます。「もう、わたしはあなた方を僕とは呼ばない。僕は主人が何をしているか、知らないからである。わたしはあなた方を友と呼ぶ。わたしは、父から聞いたことはすべて、あなたがたに知らせたからである。」(ヨハネ 15:15)このような真の友人関係が、わたしたちの学校では大切にされなければならないのだと、わたしは自分自身に言い聞かせているのです。



イングリッシュ・フェスティバルに向けて

英語科 友寄加奈恵

今年度も全学年で取り組むイングリッシュ・フェスティバルを開催します。フェスティバルに向かって6月末から中学生全員及び高校特選・特進コースにおいて学級内英語スピーチコンテストを行い、学級代表を決定しました。高校総合コースは、フェスティバル当日、グループ発表(パフォーマンス)を行います。スピーチ活動もパフォーマンスも、人前である程度の分量の英語を自分の作った文章で話す、こととなります。この人前で話すという緊張場면을体験することが、生徒の成長につながると考えています。英語を「読む・書く」という面では、十分な能力を発揮する生徒がおります。しかし、聞き手を意識して話す、という点では、どの生徒も練習と場数が必要です。「人前で」となると、各人で性格も違い、得手不得手もあります。しかし、そこを練習で乗り越えてほしいと思っています。中学1年生は、初めてのスピーチ活動でしたが、オーラルや習熟別の授業でも練習を重ね学級内コンテストに臨みました。ある生徒は、"Do you know ~? He is my favorite..."などと聴衆に話しかけながら自分の好きなアーティストについて話し、生き生きとしたスピーチになっていました。明るい表情と声から、自信をもってスピーチに臨めたことが伺えました。「人前」経験を踏むことにより、英語力に加えて、緊張状態でも何とか乗り切ろうとする精神面も鍛えられると考えています。フェスティバルでは、学級内コンテストで選考された代表が、夏休み中ずっと練習してきた成果を発表します。フェスティバルの舞台に立ちスピーチを行う生徒は12名ですが、聴衆側の生徒も自分自身が学級内スピーチコンテストを経ていることで、代表者の緊張も努力も伺い知ってくれるものと期待します。全学年で取り組むイングリッシュ・フェスティバルが、生徒にとって本校での学びの特色の一つになってくれればと願っています。

9月の予定



日・曜日	行事計画
3日(月)	生徒集会 English Festival
5日(水)	完全下校 16:20
12日(水)	小4・中3交流会
15日(土)	総合 PUP⑥ Benesse 駿台模試①6年 スタディサポート②4・5年 中2修学旅行説明会
17日(月)	敬老の日
19日(水)	完全下校 16:20
22日(土)	秋分の日
27日(木)	中頭地区陸上競技大会 (中学生) 青パック (高校生)
29日(土)	終業式 総合2, 5, 6年生 遠足 1, 3, 4年生

お知らせ

ベトロ神父様の「祈りの園」電話サービスは、8月31日を持って終了致しました。
電話サービスをご利用頂いた皆様、ありがとうございました。
9月からは、インターネット配信、祈りのホームページ
<http://www.inori-no-sono.com> をご利用ください。



文化祭のテーマ決定

皆さんから寄せられたテーマを生徒会で検討し、第8回文化祭テーマを決定しました。

テーマ・・・*CRYSTAL*

理由:1 みんなの未来も日本の未来も輝いて欲しいから。

2 みんなの才能が *CRYSTAL* のようにキラキラと発揮できる場になって欲しいから。

3 一人一人が *CRYSTAL* のように輝く文化祭になるように。

その他、アンケート結果にあった意見も掲載しておきます。

*Freedom...*自由に楽しみたい、自由で活発的な文化祭にしたいから。

*Keep for your kindness...*優しさが大切な時だから。

*Infinite∞...*みんなの無限の可能性を信じて。

絆...みんなで力を合わせて楽しい文化祭にしたいから。

*One for all, all for one...*東日本大震災もあったし、助け合っていくことがみんなのテーマだと思ったから。